

2015県教研

とき：2015年11月28日（土） 開場10:00 開会10:30

ところ：横浜平沼高校（JR・相鉄・市営地下鉄横浜駅下車徒歩7分 地図裏面）

■全体会記念講演 10:30～12:30

…戦後70年。歴史を否認しない生き方へ…

「永続敗戦論」 講師：白井聡さん

敗戦を終戦と言い換え、直視しなければならない現実から目をそむけてきた「戦後の日本社会」。課題や困難と向き合うことを避けるために、歴史を否認しつづけるのか。

歴史の転換点ともなる「戦後70年」の今年、注目の若手論客が語る。

白井 聡（しらいさとし）

京都精華大学人文学部総合人文学科専任講師。

1977年、東京都生まれ。2013年『永続敗戦論－戦後日本の核心』で第35回石橋湛山賞、第12回角川財団学芸賞を受賞。

【著書】

『未完のレーニン－「力」の思想を読む』（講談社 2007）

『「物質」の蜂起をめざして－レーニン、「力」の思想』（作品社 2010）

『永続敗戦論－戦後日本の核心』（太田出版 2013）

【共著】

『日本劣化論』（笠井潔氏との共著 ちくま新書 2014）

『日本戦後史論』（内田樹氏との共著 徳間書店 2015）

『偽りの戦後日本』（カレル・ヴァン・ウォルフレン氏との共著 角川学芸出版 2015）



■分科会 13:10～16:00 *分科会の内容は裏面をご覧ください。

■日本語教育分科会

■平和教育分科会

■健康教育分科会

■後期中等教育問題分科会

■青年期の心分科会

■人権教育分科会

■特別分科会①「奨学金、ここが問題だ！ 奨学金プロジェクトからの提言」

■特別分科会②「現代の社会的諸課題に向き合う、

教科の枠を超えた主権者教育としての授業実践」

分科会は、13:10開会（全体会・昼食休憩後）、16:00閉会です。

■日本語教育分科会：

①「戦争の聞き書きから」、②「接続助詞を使った古文における『ざっと読み』の実践」、③「『読解シート』の活用」。

■平和教育分科会：「歴史は消せない、歴史は変えられない ～ある日本軍兵士の戦争と戦後～」

①沖縄修学旅行の実践報告、②元日本軍兵士でシベリア抑留を体験された方の講話。
教え子がアメリカのための戦争で戦場に送られる法整備がなされてしまった今、戦争とは軍隊とは何か、体験者の証言を聞く中で考えたい。

■健康教育分科会：「インクルーシブ教育と養護教諭」

①インクルーシブ教育について学校での共通理解。②校内体制について。③養護教諭としてのかかわり、実践していること。

■後期中等教育問題分科会：「教務規定の管理主義化をはね返そう」

近年、教務規定が生徒に対する懲罰として使われているのではと考えられる状況がある。生徒への人権侵害が起きている。そもそも、学習指導と生活指導は峻別されるべきである。今教研では、生活指導厳罰化と軌を一にした教務規定の管理主義化の問題点をえぐりだそうと思う。

■青年期の心分科会：「『働きざかりの心理学』（河合隼雄著）の勉強会」

職場関係とりわけ生徒、同僚、管理職との関係で悩む組合員の心を軽くできたらという分科会。河合隼雄の著作を読んでいなくても、参加歓迎します。

■人権教育分科会：

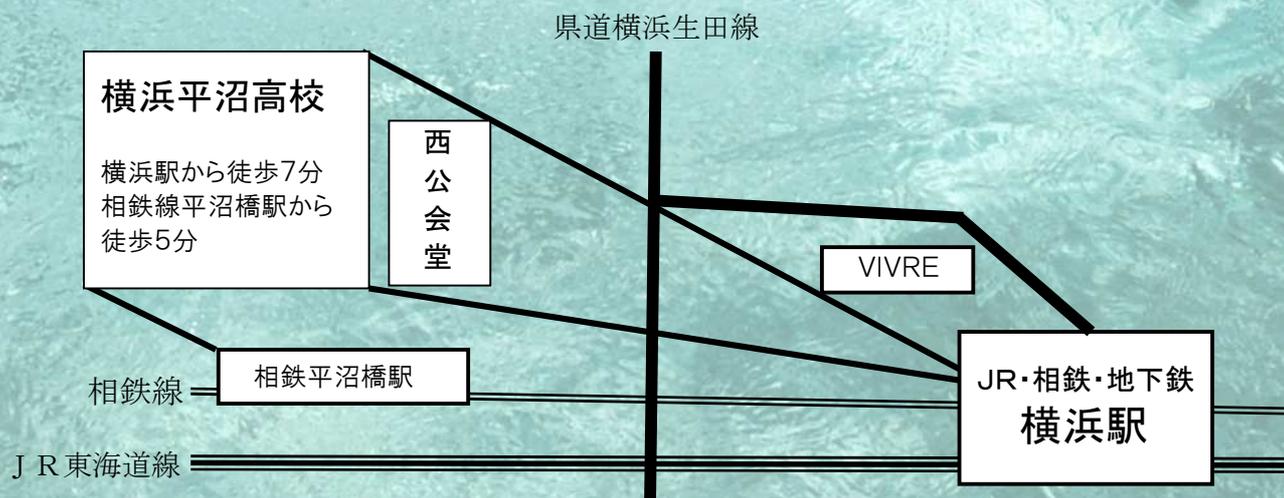
①2015外国につながる生徒在籍調査の報告。②レポート「人権教育としての多言語学習」。③レポート「横浜修悠館の外国につながる生徒にかかわるとりくみ」。

■特別分科会①「もっと話そう！奨学金のこと」

奨学金の課題を話しあいます。保護者、教職員、卒業生、生徒、大歓迎。

■特別分科会②「現代の社会的諸課題に向き合う、教科の枠を超えた主権者教育としての授業実践」

「中学校給食導入に賛成／反対？」「スマホは生活の質的向上と未来社会に有益か／有害か？」
「保育園義務教育化？」をテーマとする授業実践レポート。労働教育に関する授業実践レポート。



参加される組合員のみなさんへ：お車でのご参加はご遠慮ください。会場にゴミを残さないようにしてください。